

# 介護福祉士 実務者研修科



**介護福祉士国家試験を受験するための必須研修！**

**取得資格**

介護福祉士実務者研修  
 同行援護従業者養成研修一般課程  
 強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)課程



## 1. 訓練について

訓練期間	平成28年7月27日(水)～ 平成29年1月26日(木)		訓練会場 (地図裏面)	<b>EDC医療福祉学院</b> 仙台市青葉区中央3-4-12-8F
訓練開始・終了時刻	9:50～16:30 *企業実習は別途		訓練休講日	土・日・祝日・年末年始
訓練対象者の条件	特になし			
受講料	無料	自己負担額	教科書代	15,020円(税込)
			その他	1,000円(腸内細菌検査代)
			備考	企業実習(計2日間)交通費実費、授業を欠席した場合で資格取得のための補習講義を希望する場合は1時間あたり1,000円必要

## 2. 募集について

募集期間	平成28年5月20日(金)～平成28年7月4日(月)	定員	24名
------	----------------------------	----	-----

## 3. 応募方法について

受講をご希望の方は、原則として住所地を管轄するハローワークの窓口で職業相談を受け、ハローワークの確認を受けた「受講申込書」を受付期間内に郵送又は持参により当施設まで提出してください。  
 ※応募状況が低調な場合は、訓練の実施を中止することがあります。

## 4. 選考について

選考日時	平成28年7月7日(木) 10:00～	選考会場 (地図裏面)	訓練会場と同じ 仙台市青葉区中央3-4-12-8F
選考方法	面接	持ち物	筆記用具
選考結果通知日	平成28年7月12日(火)	選考結果 通知方法	郵送

## 5. 職業訓練受講給付金について

公共職業安定所の指示により、求職者支援訓練を受講する場合に、一定の要件を満たせば訓練中の生活支援として、職業訓練受講手当・通所手当が支給されます。

## 6. 訓練カリキュラムについて

科目		科目の内容	訓練時間
学 科	入校式、修了式	入校式・訓練の概要説明(3h)、修了式(2h)、就職支援(6h)	
	職業能力基礎講習	自己理解、職業意識、表現スキル、人間関係スキル、ビジネスマナー	27時間
	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則	3時間
	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	6時間
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度	6時間
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	36時間
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	12時間
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	24時間
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	15時間
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	12時間
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	24時間
	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人のかかわり・支援の基本	12時間
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	24時間
	障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本	12時間
	障害の理解Ⅱ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	24時間
	こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔)	24時間
	こころとからだのしくみⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点	54時間
	介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	24時間
	介護過程Ⅱ	介護過程の展開の実際(介護の専門性を活かした介護過程)	18時間
	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)	60時間
同行援護従業者の知識	視覚障害者(児)福祉サービス、同行援護の制度と従業者の業務、障害者(児)の心理、障害・疾病の理解、同行援護の基礎知識、情報支援と情報提供、代筆、代読の基礎知識	12時間	
強度行動障害支援者の知識	強度行動障害がある者の基本的理解、強度行動障害に関する制度及び支援技術の基本的知識	8時間	
実習事後ガイダンス	実習後の気づき、反省点、自己の介護観について	6時間	
実 技	コミュニケーション技術(演習)	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	9時間
	こころとからだのしくみⅡ(演習)	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	18時間
	生活支援技術Ⅰ(演習)	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)、環境整備、福祉用具の活用等の視点	24時間
	生活支援技術Ⅱ(演習)	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	36時間
	介護過程Ⅱ(演習)	介護過程の実際の展開	12時間
	介護過程Ⅲ(演習)	介護過程の展開の実際、介護技術の評価	54時間
	医療的ケア(演習)	喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習 ※シミュレータ装置による演習となります。	18時間
	実習事前演習(演習)	実習の目的・経験目標について、実習中の態度・心構え、事故防止、介護業務の留意点、実習記録の書き方	6時間
	同行援護従業者の技術(演習)	視覚障害者への移動支援に係る基本技能(基本姿勢、歩行、曲がる、狭い場所の通過、ドアの通過、椅子への誘導、段差・階段歩行)、応用技能(環境に応じた歩行、種々の階段及びドア、エレベーター・エスカレーター利用、場面別技能(食事、トイレ、買い物、窓口やカウンター等))	12時間
	強度行動障害支援者の技術(演習)	基本的な情報収集と記録等の共有に関する実習、行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する実習、行動障害の背景にある特性の理解に関する実習	10時間
<input type="checkbox"/> 職場体験 <input type="checkbox"/> 職業人講話 <input type="checkbox"/> 職場見学 <input type="checkbox"/> その他			
企業実習	<input type="checkbox"/> 実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 実施する		12時間
訓練時間合計			654時間

## 7. 訓練目標について

介護職に必要とされる、対人理解や対人援助の基本的な視点と理念や知識、技術を学び、即戦力として就業出来ることを目標とする

## 8. 訓練実施施設等までの交通手段

	訓練会場及び選考会場	<b>E D C医療福祉学院</b> 仙台市青葉区中央3-4-1 2-8F TEL: 022-716-2125
	駐車場	駐車場はありません
	最寄駅	JR仙台駅・地下鉄仙台駅徒歩5分